

SNSに係る情報モラル教育について（学校教育課）

課題

- ・インターネットや端末機器の普及により、SNS等のインターネットに係る児童生徒のトラブルが急増

※生徒指導上の問題の大半は、SNS等のインターネットでのトラブルを含んでいる

- ┌ ネット依存
- ├ オンラインゲーム等での課金
- └ Line等でのネットいじめ

等、情報化社会の加速度的な発展に伴うトラブルの拡大



これまで以上に情報モラル教育の重要性が高まっている



本市の取組

- ・活用型情報モラル教材「GIGAワークブックあなん」の活用
- ・一人一台タブレット端末の使い方指導をととした情報モラル教育
- ・研究授業、研修会の実施（教員の情報モラル教育の指導力向上）
- ・外部講師招聘等による、情報モラル教育に係るより専門的な出前授業や講演会の実施
- ・ネットトラブルに係る相談窓口の周知
- ・フィルタリング機能の設定について保護者に啓発
- ・関係機関との連携による情報共有
- ・校長会等の機会を通じた情報モラル教育実施の周知徹底

など



SNSに係るネットトラブルの最新動向の情報収集と先進事例等に学びながら、関係機関との連携を密にして、児童生徒の発達段階に応じた「児童生徒が自ら考え判断し行動する」情報モラル教育の質の向上を図っていく